外郭団体現況調書

令和6年7月1日現在

団　体　名	公益財団法人　會津八一記念館				
所　在　地	新潟市中央区万代3丁目1番1号新潟日報メディアシップ		電話番号	025-282-7612	
所　管　課	文化スポーツ部 文化政策課		電子メール	info@aizuyaichi.or.jp	
設立年月日	昭和47年5月8日	代表者職氏名	理事長　　佐藤　明		
基本財産等	198,400　千円	市出資額	100,000　千円	市出資割合	50.4　%
設立目的	會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文学・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育・学術の交流に資すること。				

組織の状況	常　勤	内　訳			非常勤／嘱託・臨時	内　訳			合　計
		市派遣	市ＯＢ	その他		市職員	市ＯＢ	その他	
役員数	0　人				11　人	3		8	11　人
職員数	3　人			3	0　人				3　人

財務の状況	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度予算
総収入額（収益）	45,628　千円	47,263　千円	48,611　千円	54,341　千円
総支出額（費用）	45,466　千円	50,151　千円	47,404　千円	54,103　千円
差引収支額（税引き前当期純損益）	162　千円	▲ 2,888　千円	1,207　千円	238　千円
総資産額	256,939　千円	253,521　千円	257,165　千円	
総負債額	18,893　千円	18,434　千円	20,941　千円	
正味財産額	238,046　千円	235,087　千円	236,224　千円	

市からの財政支出等の状況	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度予算
補助金	千円	千円	千円	千円
事業費補助金	千円	千円	千円	千円
運営費補助金	千円	千円	千円	千円
設備投資に係る補助金	千円	千円	千円	千円
負担金	80　千円	80　千円	80　千円	80　千円
交付金	千円	千円	千円	千円
委託料	40,468　千円	41,928　千円	43,761　千円	48,893　千円
指定管理料（公募）	千円	千円	千円	千円
指定管理料（非公募）	40,468　千円	41,928　千円	43,761　千円	48,893　千円
業務委託（随契）	千円	千円	千円	千円
業務委託（その他）	千円	千円	千円	千円
貸付金（期中借入額）	千円	千円	千円	千円
出資・出捐金（追加分）	千円	千円	千円	千円
その他※（　　）	千円	千円	千円	千円
合　計	40,548　千円	42,008　千円	43,841　千円	48,973　千円
貸付金残高	千円	千円	千円	千円
損失補償契約に係る債務残高	千円	千円	千円	千円
損失補償限度額	千円	千円	千円	千円
その他財政援助の状況（税や使用料の減免，建物の無償貸与等）				
市からの財政支出等の必要性				

	事業名	事業内容	予算額	
令和６年度 主要事業	企画展「會津八一と秋艸堂に集う文化人たち」	會津八一の周囲には、恩師・坪内逍遙などの諸先輩から、歌人・吉野秀雄などの学芸の門下生まで、様々な文化人が往来し、歓談したという。そのような交流の中で、八一は友人のために書を揮毫したり、合作の作品を制作したりしている。本展では当館所蔵の文化人との関連作品資料を中心に紹介する。	742	千円
	企画展　富岡鐵齋没後１００年記念 「鉄斎・八一の文人世界」	鐵齋没後100年を記念する企画展。鐵齋と八一は、書を生業としなかったが、書の見識を以て独自の美しさを生み出した芸術家で、その書を「文人の書」として位置づけている。展覧会では、二人の多岐にわたる書の表現方法の共通性や違いについて、それぞれの墨蹟を展示し、書道界で字形や技法を尊ぶいわゆる「書家の書」に対して問題提起を試みたい。	742	千円
	特別展「會津八一と大和路」 入江泰吉・杉本健吉とともに	奈良・大和路を題材に多くの作品を残した画家・杉本健吉（1905～2004）、写真家・入江泰吉（1905～1992）について、會津八一との交流を交えて紹介する。杉本の奈良関連の作品資料を収蔵している奈良県立美術館と、入江の作品を収蔵している入江泰吉記念奈良市写真美術館の協力を仰いで、3人の芸術家が表現した大和路の美を紹介したい。	3,609	千円
	企画展「八一を知る　八一がわかる 獨往の書の秘密」	シリーズ第4弾は〈書〉をテーマに企画。15歳のときの菊図の文字から、７５歳のときの絶筆《相見呵々咲》までの間、書風の変遷を墨蹟や原稿、書簡、雑誌などで紹介する。また、八一が影響を受けた古代文字の拓本、独自の修練方法とそれを解説した原稿、様本、文房具類も陳列。それらを通じて八一の独往の書の魅力に迫りたい。	742	千円
	會津八一生誕記念「八一祭」特別企画	地元高校生に會津八一を知ってもらうため、世界的な石工・佐野勝司氏制作の石板を用いて拓本大会を実施する。	390	千円
	「會津八一の歌を映す」写真コンテスト	會津八一の和歌の素晴らしさを写真で表現する試み。全国的にも類を見ない企画となっており、今年で１８回目を迎え、定着している。	3,000	千円
	書の体験講座	①絵手紙体験 ②年賀状作成 ③篆刻体験	110	千円

※　該当項目以外の記載事項がある場合は必ず記載する。